

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 人工関節置換術患者に対して三次元加速度センサーを用いた歩行解析の研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科では、人工関節置換術患者^{※1}の歩容^{※2}の変化を解析することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、症例に応じた適切な運動療法を選択し、術後のリハビリテーション効果を向上させ、関節痛との関連の解明が期待されます。

※1 上肢、骨盤、下肢疾患に対して金属でできた人工関節を挿入し徐痛、可動域を改善させる手術方法です。

※2 歩容とは、歩く時の姿勢、動作、歩幅などの特徴のことです。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2022年8月～2023年2月までに人工関節置換術(肩関節、膝関節、股関節)を施行し主治医の指示のもと、理学療法士によって歩行解析を行なった患者 計60例程度

方法:

加速度センサーを装着し10mの歩行距離を前後3mの助走幅を持たせた上で、通常歩行速度と最速歩行速度にて歩行を行い、診療録や歩行解析データから三次元加速度センサーによる歩行分析データを抽出し、解析を行います。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像評価(単純X線や単純CT画像、MRI画像)、歩行解析データ、可動域、筋力

【研究組織】

施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者: 池上 博泰 役職: 教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

※研究対象者が高齢者や認知症の場合、家族からのオプトアウト申し出に対応します。

【利益相反について】

この研究は、整形外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター 大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授 池上 博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032